

人材育成と地域づくり

1. 健康づくり推進員・食生活改善推進会

「健康づくり推進員」、「食生活改善推進員」は、市民の健康増進・介護予防を地域で支える人材として、健康づくり活動や食育活動を実施。

【今年度の主な活動内容】

○健康づくり推進員

- ・定例会として、毎月勉強会を開催。
- ・地域や小中学校等で、健康測定(体組成、握力、足指力等の測定)の実施と測定結果の説明。
- ・特定健診、がん検診の受診勧奨。
- ・健康チャレンジ10か条の普及啓発。
- ・ゆくはし健幸つなぎ隊との交流:11月27日(水)

○食生活改善推進員

- ・地域に対する食育事業(減塩、フレイル予防など)。
- ・小学校や保育園でみそづくり。
- ・パネル展示(減塩、砂糖、フレイル予防、朝食、野菜)、大型紙芝居(減塩、フレイル予防)など。
- ・市事業への協力。(糖尿病予防教室、スタンドアローン支援事業、古賀式私の朝プロジェクトなど)
- ・健康チャレンジ10か条の普及啓発。

【活動人数】

※令和6年12月末時点

小学校区名	健康づくり推進員(人)	食生活改善推進員(人)	校区合計
青柳	0	1	1
小野	3	3	6
古賀東	8	7	15
古賀西	8	5	13
花鶴	8	1	9
千鳥	5	4	9
花見	5	6	11
舞の里	10	3	13
合計	47	30	77

【今年度の人材育成状況】(令和6年1月末時点)

○健康づくり推進員(全2回)

- ・令和6年6月に健康づくり推進員養成講座を実施。(7名申込、7名受講。7名委嘱。)

○食生活改善推進員(全8回)

- ・令和7年1月までに終了。(19名申し込み、12名修了、10名食生活改善推進会加入予定。)

【課題及び今後の展望】

- ・人数、性別の地域間格差をなくし、サポーターが率先して地域を引っ張っていけるように、サポーターの主体的な活動を支援していく。
- ・サポーターの高齢化や新しいサポーターが増えないという現状に加え、測定会、食育事業ともに需要の増加に伴いサポーターの慢性的な人員不足がある。

2. ヘルス・ステーション

地域住民が主体となり地域の公民館等の施設を有効に活用しながら、子どもから高齢者までの健康づくりや介護予防を推進する行政区にヘルス・ステーションを設置する事業。補助金の有無にかかわらず設置することが可能。

【設置状況】

令和6年度:14 地域

花鶴丘3丁目区、花鶴丘1丁目区、花見東2区、花見南区、庄北区、中川区、舞の里2区、中央区、
花見東1区、日吉台区、庄南区、千鳥東区、町川原2区、町川原1区

補助金申請地域:4地域

【主な活動内容】

≪各地域での活動≫

健康測定会、ウォーキング、ラジオ体操、健康セミナー、健康体操、親子クッキング、健康フェスタ、
室内軽スポーツ(室内パタンク、スカットボール、ボールンピック、ボッチャ、ヨガ、吹き矢等)など

≪ヘルステ情報交換会≫

○実施日：令和6年8月23日(金)

○参加地域：9 地域(ヘルステ設置区:8 地域、検討地域:1 地域)

○実施内容

- ・古賀市健康増進計画(第三次)・食育推進計画(第二次)、健康チャレンジ10か条、地域リハビリテーションの説明
 - ・ヘルス・ステーションの目的と期待される効果について説明
 - ・情報・意見交換(情報交換シートの共有とグループワーク)
- ヘルス・ステーションを運営するうえで良かったことや課題など



【課題及び今後の展望】

- ・ヘルス・ステーションは地域づくりを健康の視点で支援する事業であるが、未設置地域においても地域の特性に応じた地域事業を展開しているところもあり、地域に出向き、各地域の課題を把握した上での支援を実施したい。
- ・次年度にむけてヘルス・ステーションの設置を検討している地域については、設置に向けての支援(地域役員などへの説明や書類の作成など)を実施していく。
- ・現在設置しているヘルス・ステーションに対する運営課題等を把握し、気軽に相談できる市の体制づくりや地域同士の情報交換会の開催、地域づくりを担う人材を育成し継続した運営ができるよう支援していく。